

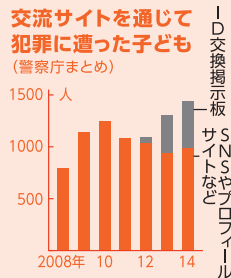
SNSによる犯罪被害が急増!!

一殺人事件も発生ー

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)=Facebook、LINE、Twitter等

2014年度の被害者は過去最高の1,421人!
スマートフォン利用者の被害が急増しています!

交流サイト(コミュニティサイト)を利用して、性犯罪などの被害に遭った子どもの87.6%が、スマートフォンを利用しています。



対策 ネット上で知り合った人とは会わない

悪ふざけのつもりでも、人生に影響が!

一投稿写真等、個人情報の拡散・炎上ー

仲間内でSNSに投稿した写真や動画が全国に広まり、取り返しのつかない事態に発展するケースが多発しています。安易な投稿が子どもの将来を大きく左右します。



スマートフォンで撮影した写真には、GPS機能により位置情報が含まれる場合があるため、投稿写真から自宅など撮影場所が特定されることがあります。

対策 写真などの個人情報を投稿しない

ネット上へ流出した『写真』は消えません!!

ーリベンジポルノの被害者にー

別れた恋人等の裸の写真や動画をネット上に流出させるリベンジポルノが社会問題化しています。

ネット上へ流出してしまった写真を完全に削除することは、不可能です。

リベンジポルノは犯罪です!



対策 たとえ恋人同士でも、恥ずかしい写真は「撮らない! 撮らせない! 送らない!」



兵庫県での相談窓口 ～気軽に相談しましょう～

県警本部サイバー犯罪対策課	078-341-7441 (代表)
県警本部少年育成課 少年相談室(ヤングトーク)	0120-786-109 (平日 9時～17時30分)
ひょうごっ子悩み相談センター	0120-783-111 (毎日 9時～21時) 0795-42-6559 (毎日 21時～9時)
ひょうごっ子「ネットいじめ情報」 相談窓口	06-4868-3395 (月～土 14時～19時)
県精神保健福祉センター	078-252-4980 (火～土 8時45分～17時30分)
消費者ホットライン	0570-064-370



ネットトラブル防止啓発動画等を閲覧できます。
下記のQRコードでアクセスできますので、ぜひご覧ください。



ネットトラブル
防止啓発動画



フィルタリング
啓発動画

ネットの危険から

子どもを守る

義務がある!!



兵庫県マスコット
はばタン

ひょうごスマホ宣言2015

- ① 奪われない あなたの時間 貴重な人生
- ② その指が 自分の未来を かえちゃうよ
- ③ メールより 声で伝える その言葉
- ④ フィルタリング 携帯持った その日から

平成27年2月「スマホサミットinひょうご」の
「中高生等による公開討論会」で話し合っ決定しました。

兵庫県は、青少年のスマートフォン・携帯電話への
フィルタリング利用を原則義務化しています。



兵庫県教育委員会
兵庫県警察

スマホの使い過ぎで 生活習慣の乱れから成績に悪影響!!

「寝る直前までスマートフォンなどをよく使う」と回答した高校生の割合 **65.6%**

(平成27年3月文部科学省委託調査)

そのうち、85.4%が「朝、ふとんから出るのがつらいことがある」、82.3%が「朝から授業中にもかかわらず眠くて仕方がないことがある」と回答。

眠れない!

起きられない!

勉強できない!

対策 家庭での利用時間や場所を決める

兵庫県内の学校では、生徒会等を中心に、生徒自身がスマートフォンや携帯電話の利用方法について考え、ルールづくりをはじめています。家庭でも、子どもと話し合い、利用する時間や場所を決めましょう。

ネット犯罪被害に遭った子どもの95%が フィルタリングを設定していません

警察庁が公表した衝撃の事実をご存じですか?

ネットの犯罪被害に遭った95%の子どもが、フィルタリングを利用していません。

リスク回避のためにフィルタリングはとても重要です!!

あり 4.8%

なし 95.2%

やっぱり
ネット対策には
フィルタリングは
重要!

※コミュニティサイトに起因する犯罪における被害者のフィルタリング利用状況
(平成26年上半年・警察庁資料) n=374

フィルタリングは 子どもたちの味方です

フィルタリングは**有害サイトやメールをブロックする**子どもたちの**強い味方**です。

フィルタリングを設定しても**LINEなどのアプリは利用できます。**

携帯ゲーム機や音楽プレイヤー等、ネットが使える機器にもフィルタリングの設定が必要です。



家庭内でルールについて話し合ってみませんか?

ルールづくりのポイント

フィルタリングの設定は必須です

- ① 個人情報を書き込まない
- ② 利用する時間や、場所を決める
- ③ 困ったことは直ぐに親に相談する

子どもたちの安全・安心のために

- ① 安全な利用環境
フィルタリングの設定
- ② 危険性を正しく理解
**防犯教室等への参加や
学校や関係機関との連携**
- ③ 子どもたちとともに、**ルールをつくり、守らせ、見守る**



保護者の皆様へ

子どもたちは
保護者の姿を見て、
学び、育ちます。



子どもたちがスマートフォンやネットを適切に利用できるかどうかは、**大人の態度や意識にかかっています。**

「役に立つから」「便利だから」と安易にスマートフォンや携帯電話を買い与えることは、様々な危険やトラブルに子どもたちが巻き込まれる可能性があります。

まず、保護者自身がスマートフォンやネットのことを正しく知りましょう!

チェックしましょう!



- ☐ 保護者自身がスマートフォンやネットの正しい使い方(マナーや利用時間など)を行動で示していますか?
- ☐ フィルタリングを設定していれば防ぐことができた犯罪被害やトラブル事例が多くあることを知っていますか?
- ☐ ネット上に投稿した写真等の情報は、すぐに拡散し、容易に消せないことを知っていますか?
- ☐ 「ネット上では匿名性が高い」と誤解していませんか?
- ☐ 家庭内でスマートフォンの利用ルールを、子どもと相談しながら決めていますか?
- ☐ 家庭内で決めたルールを定期的に話し合い、見直していますか?
- ☐ 困ったときに相談できる人や窓口を知っていますか?

もし、トラブルにあったら...



相談を受けたときに、慌てないように、事前に対応方法や相談窓口を確認しておきましょう。

裏面をみてね!

